



聖心女子大学

University of the Sacred Heart, Tokyo

2022年度 一般選抜 解答と講評

目次

【3教科A方式】

国語	p. 1
英語	p. 3
フランス語 (解答)	p. 5
日本史	p. 7
世界史	p. 9

【3教科B方式】

国語	p. 11
英語	p. 13
日本史	p. 15
世界史	p. 17

【総合小論文方式】	p. 19
-----------	-------

一

【解答】

問一 (1) ③ (2) ② (3) ① (4) ② (5) ⑤

問二 (6) こうずか (7) きつもん (8) だんじき (9) く (10) ふせつ

【講評】

出題された漢字は、日常的に使用されるものです。問一は、問題文の傍線部と同じ漢字を含むものを、5つの選択肢から選ぶ問題でした。(4)と(5)の正答率がやや低かったものの、問一全体としては6割程度できていました。問二は(6)の正答率がやや低かったものの、問二全体としては6割程度できていました。大問一は、漢字の読み書きを問うとともに語彙力を問う問題でもあります。日頃から読書などを通して語彙の知識を増やしておくといいでしょう。

二

【解答】

問一 ① 問二 ③ ⑤ 問三 あのおばさんみたいに 問四 ⑤ 問五 ② ④

問六 下の講評を参照 問七 ②

【講評】

問一は語彙力を問う問題、問二は「母」の独特な人物像を把握しているかを問う問題です。問三は、「私」が「母」に向かって言う「あのおばさんみたいに、産んだからなんて理由で、好きになんかなってもらわなくても」(p.8)という発言に注目して答えます。問四は「母」と「私」たち姉弟との関係を正しく把握しているか、問五はそうした親子関係と同時に、本文に特徴的な表現について理解しているかを問う問題です。以上の問二～問四は、本文を丁寧に読み、登場人物それぞれの人物像と相互関係を捉えることを求める問題で、全体に高い正答率でした。次の問六は記述式で、母と子の関係性についての「私」の見解をもっともよく示している「私たちだって、たまたまお母さんから～無理することないよ」(p.8)という発言にもとづいて解答をまとめます。問七は有名作家の代表作を問う文学史問題ですが、低い正答率でした。

三

【解答】

問一 A ④ B ② 問二 下の講評を参照

問三 a ⑨ b ⑥ c ③ d ⑦ e ④

問四 (1) ② (2) ① (3) ② (4) ②

問五 下の講評を参照 問六 ⑤ 問七 ② ④ 問八 ④

【講評】

問一と問二は、基本単語と文法を確認する問題です。問二は「な～そ」の禁止の表現と「たまひ」の尊敬語を押さえて「お泣きにならないでください」のように現代語訳をします。問三も文法の基本を確認する問題ですが、形だけでなく意味もきちんと理解していることが重要です。問四は敬語の使用と文脈から正確に読解出来ているかを確認しました。(1)(2)は尊敬語、(3)は丁寧語、(4)は謙譲語です。(3)と(4)はあまり出来がよくありませんでした。問五は基本単語を押さえた上で文脈を理解できているかを問う問題です。「御髪まゐる」は、貴人の髪を整えることを言い、傍線部は、紫の上が髪を整えてもらうのを嫌がるくらい幼い様子を表しています。問六は内容読解の問題です。傍線部が地の文であることがポイントになります。問七は文章全体の理解度を確認しました。問八は基本的な文学史の問題です。

四

【解答】

問一 ④ 問二 ③ 問三 ④

問四 (1) 理性(理性の力、「理性」も可) (2) 下の講評を参照 問五 ② ③

【講評】

問題文の20ページ1行目に脱字がありました。シンガーの言葉の引用文冒頭「効果的な利他主義者は、(中略)」の「者」の字が抜けていました。お詫びして訂正いたします。なお、受験生の解答、および採点の公平性に影響はありません。

記述問題を含め、全体的によくできていました。問一はことわざの知識を問う問題です。問二は利他主義と利己主義の「伝統的な考え方」、すなわち反対のものを指す言葉を選びます。問三は、文脈から「共感にもとづく利他」について述べている箇所を選びます。この問題は大変よくできていました。問四(1)の正答率も高いものでした。「理性」の語は文中に繰り返し出てきます。問四(2)は、「共感」がどのようなものであるから効果的利他主義に向かないのか、そして「共感」が否定される背景にはどのような危機があるのかをまとめましょう。決して難しい問題ではないのですが、目的語が不明確な解答や、「なぜ」という質問に即さない解答が散見しました。80字とやや長い記述なので、場合によっては文章を分けて正確に解答するよう気を付けて下さい。問五は、選択肢①～⑤の順で問題文中に言及されている事柄です。問題文を丁寧に読めば難しくはありません。

A 方式は従来通り大問 3 題が出題され、2 題は論説文で 1 題は会話文です。ある程度の長さの文章を読み、要点を把握すること、そして、自分のことばで考えたことを論理的に説明できる力が要求されます。受験生の皆さんは、日頃から英語を使うことを念頭に置いて、語彙、文法を身につけるよう心がけましょう。

I.

【解答】

問 1 (A) mobile (B) independent (C) arrival (D) sympathize (E) admirable

問 2 1. ③ 2. ② 3. ④ 4. ④

問 3 ③

問 4 視覚障がい者と盲導犬の絆は他のいかなる関係にも例え難い(比べることは難しい)。

【講評】

目の不自由な著者と盲導犬の関係、日本で盲導犬がまだ十分社会に受け入れられていない現状と将来の展望について述べた文章です。問 1 は毎年繰り返し出題されている派生語を問う問題です。(D)sympathize (E)admirable の正答率があまり良くありませんでした。派生語は語彙力を増やす大切な学習方法です。日常的に派生語を調べる習慣をつけると良いでしょう。問 2 は本文の内容と一致する文を完成させる問題、問 3 は本文中の一文の意味に近いものを選ぶ問題です。問 4 は日本語訳で、hard to compare to が「例える(比較する)のが難しい」という意味ですが、hard を(絆が)「硬い(固い)、強い」と訳した解答が多かったです。to compare と結びついて hard は difficult の意味で、solid の意味では解釈されません。

II.

【解答】

問 1 (ア) ④ (イ) ① (ウ) ④ (エ) ③ (オ) ②

問 2 (a) ③ (b) ③ (c) ④ (d) ④ (e) ② (f) ③

問 3 17) ⑨ 18) ④ 19) ⑧ 20) ② 21) ⑥ 22) ⑦ 23) ⑤ 24) ①

問 4 ②

【講評】

会話文の慣用句や語法を問う問題です。英語らしい言い回しを学び、前後の脈絡から意味を考えることも必要です。Why not~? All that said など日頃から会話文に触れておくと良いでしょう。問 2 (f)What's your point?の point に近い意味を選ぶ問題があまりできていませんでした。What's your point? は何が言いたいのか相手に尋ねているので、point と置き換えられる表現は選択肢の中では question です。問 3 は会話文の要旨を表す文章の空所補充

問題、問4は本文の主題を問う問題です。全体の会話から要点を掴みとる必要があります。

III.

【解答】

問1 (1) ① (2) ① (3) ③ (4) ④ (5) ②

問2 (A) ⑤ (B) ② (C) ③ (D) ①

問3 (a) ④ (b) ② (c) ① (d) ①

問4 ② ④ (順不同)

問5 (Answers vary)

【講評】

顕微鏡でしか見えない1.5ミリメートルより小さい生き物、クマムシは、実は最強の生物で、全く水のない宇宙に行って無事元気に生き残っていたその不思議な生態についての記述です。問1、問2は文法と論理性を問う空所補充問題、問3はそれぞれの表現に近い意味を選ぶ問題、問4は本文の内容についての正誤問題、問5は英文60語程度でクマムシの生態を知ることとはどのようなことに役立つか論じる問題です。最後の論述問題は短いながら論点を明らかにする必要があり、日頃から主張とその論拠をいくつか上げるなどパラグラフの書き方を学んでおくとよいでしょう。

I

1. Il est marin.
2. Les Européens voulaient acheter de la soie et des épices en Chine.
3. Il a besoin d'argent pour financer ses guerres.
4. Parce que la voie de terre vers l'Asie, empruntée par les caravanes, était bloquée par les Turcs depuis 1453.
5. Il vient de Bretagne.
6. Ils acceptent d'échanger des fourrures contre des couteaux.
7. Il rentre en France pour éviter d'être bloqué par les glaces, parce qu'il ne veut pas passer l'hiver dans cette terre qu'il ne connaît pas.
8. Selon lui, la France devrait coloniser l'île d'Hochelaga parce que les habitants de l'île sont accueillants et il y a plusieurs sites qui offrent de belles perspectives pour l'agriculture.
9. Il n'a pas trouvé de voie vers l'ouest, ni réussi la colonisation du Canada.
10. Non, il n'est pas riche, parce qu'il a été ruiné par son investissement personnel dans les expéditions.

II

オノレ・ド・バルザックとコーヒー

また次の一杯、また次のコーヒーポット… 仕事のリズムを保つため、オノレ・ド・バルザックはコーヒーを用いる。彼は日に 50 杯ものコーヒーを飲むことができる！ 彼は毎日仕事をする。20 時、床に入り、就寝。真夜中、彼を起こすため、召使いが扉をノックする。バルザックは服を着る。小さなテーブルの上には、6 本のロウソクと筆記用具がある。8 時間に及ぶ仕事の開始だ。朝の 8 時に休憩。バルザックは 1 時間、熱い風呂に浸かり、疲れた体をほぐす。その後の数時間は、原稿の修正に費やされる。それから手紙の返事を書く。午後遅く、バルザックは手を止める。彼は疲れている。1、2 時間、知人を訪問する。そうするともう眠りに戻る時間となる。1 日を通して、コーヒーのおかげで目を覚ましていることができる。

このように過剰に摂取したことで、おそらく彼の健康には悪影響が及ぶことになった。1850 年、彼は 51 歳で亡くなった。

III

1. faisait
2. avons pu
3. es arrivé(e)
4. surtais
5. avons su
6. était
7. ont oublié
8. fallait

IV

1. leur
2. te
3. le
4. me
5. le
6. elle

V

1. Le salon du chocolat est un événement populaire qui a lieu tous les ans.
2. Vous lui avez prêté le livre dont il avait besoin.
3. Voici la chanson que j'ai écrite.
4. Montréal a des places où on y danse le 24 juin.
5. Il y a une voiture qu'elle voudrait acheter.

2022年度 一般選抜3教科A方式 「日本史」

(I)

【解答例】

問1 ア 屈葬 イ 橘諸兄 ウ 長岡 エ 御霊会 オ 後白河

問2 a② b① c② d③ e③ f④ g③ h②

問3 (1) (藤原)不比等 (2) 六国史 (3) 勘解由使 (4) 町衆
(5) 北野天満宮(北野神社) (6) 紀伝 (7) 愚管抄

【講評】

原始時代から平安時代末までの「怨霊」に関する文章を読んで解答する問題です。記述式の間1と3は、全体によくできていましたが、問3(5)は太宰府天満宮、湯島天神などの誤答が目立ちました。マーク式の間2では、c・g・hの正答率がやや低めでした。gの七道は現在でも使われることのある区分なので、教科書の見返しの地図などで把握しておくといと思います。

(II)

【解答例】

問1 (A) 公地公民 (B) 問丸 (C) 後醍醐 (D) 問屋 (E) 尚巴志 (F) 南蛮
(G) 五山版

問2 (a)② (b)① (c)② (d)③ (e)④ (f)③ (g)④ (h)①
(i)① (j)② (k)④

【講評】

問1において(E)の「尚巴志」について漢字のミスが目立ちました。また(D)に関して「関所」という誤答が、(G)に関して「キリシタン版」「聖書」「大蔵経」「慶長勅版」といった誤答が多くありました。問2については(k)の正答率が低かったようです。文化史については、例えば桃山文化であれば「大きくて派手な建物」といった、時代や文化ごとのイメージを持っておくに対応しやすいと思われます。

(III)

【解答例】

問1 ア 道中 イ 本陣 ウ 中山道 エ 工部

問2 (a) ② (b) ③ (c) ② (d) ③ (e) ① (f) ① (g) ③もしくは④

問3 (1) 幕府が諸藩に対して参勤交代を義務づけたため。 (2) 助郷

【講評】

(Ⅲ)は江戸時代から明治時代初期の交通に関連した問題です。問1と問2はおおむねよくできていました。なお、問1のウでは、東海道という解答が多くみられました。リード文中の「木曾」や「山の中である」という情報などから、東海道ではなく中山道と判断する手助けになったのではないかと思います。問2の(g)について、憲法草案に関与したのはロエスレルだと教科書では説明されていますが、モッセも関与していたことから③も正解としました。問3の(1)では、幕末の五品江戸廻送令や江戸を中心とした物流網の構築に言及する解答が散見されました。しかし、これは明らかな時代錯誤であり、物流は主に海上交通によって担われるものですので不正解としました。

(Ⅳ)

【解答例】

問1 ア 日本鉄道(日本鉄道株式) イ 西園寺公望 ウ 南満州鉄道

エ オリンピック オ JR

問2 首都である東京と開港場である横浜の間の交通の便を向上させようとした。

問3 (a) ④ (b) ② (c) ③ (d) ④ (e) ② (f) ①

【講評】

近現代日本の交通手段として重要な鉄道に関する問題です。問1では、基本的な事実を問いました。問2は、よく知られた史実の背景を問いました。東京が首都(大都市も可としました)であること、横浜が開港場であることが理解できているかがポイントです。直接的な目的は交通の便をよくすることですが、それには政治的・経済的な目的もありますから、それらの説明が入っていても正解にしています。問3の(e)がやや難しかったようです。明治時代に西洋の技術を取り入れて建てられ、現在もそれを伝えてくれている建造物たちです。なぜ建てられたのか、誰が関わったのかも調べておくと、政治・経済・社会・文化にまたがる知識になります。

2022年度 一般選抜3教科A方式 「世界史」

(I)

【解答例】

問1 ⑦ 問2 イエルサレム 問3 ③ 問4 ④ 問5 モーセ
問6 ② 問7 ① 問8 ヤハウエ (ヤーヴェ) 問9 選民思想

【講評】

(I)はヘブライ人(ユダヤ人)とユダヤ教に関する問題でした。記述式の問題については、問8や問9と比べると問2の正答率はあまり高くありませんでした。都の名前を思い出せなくても、ユダヤ教の神殿がつくられた聖なる地と考えれば答えにたどりつくでしょう。マーク式の問題については、問3と問7がほかの問題と比べると正答率が低い結果となりましたが、全体としてはとても高い正答率でした。(I)は世界史の教科書でも最初のほうに出てくるトピックですので、比較的取り組みやすい問題であったかと思います。

(II)

【解答例】

問1 ⑤ 問2 ④ 問3 董仲舒 問4 諸子百家 問5 ② 問6 ⑤ 問7 ①
問8 人物－司馬遷 史書－史記 問9 ④ 問10 ③ 問11 ④ 問12 ②

【講評】

(II)は中国古代の文化に関する文章を読んで答える問題です。問1は9割以上と非常に正答率が高かったです。問3は漢字の誤りが目立ちました。漢字を正確に覚えるようにしましょう。問5と問6は組み合わせ問題ですが、正答率は5割を超えました。正答率が低かったのは問9です。人物の名前を覚えるだけでなく、出身地、経歴、功績等についてもしっかり整理しておくようにしましょう。

(III)

【解答例】

問1 ④ 問2 (ア) ビザンツ (東ローマ)、(ウ) 東方 (レヴァント)
問3 ① 問4 ② 問5 ③ 問6 ②と⑤[順不同] 問7 世界の銀行 問8 ②
問9 ③ 問10 フランクリン・ローズヴェルト (ルーズベルト)
問11 ②と④[順不同] 問12 ②と⑤[順不同]

【講評】

(Ⅲ)では欧米を中心に、中世から現代に至る地域・世界経済の発展について問いました。問2でレバントと書いたり、問10でセオドア・ルーズベルトと答えたりする誤りが目立ちました。選択問題でとくに正答率が低かったのは問5で、5割を切っています。産業革命の進展によって自由貿易化が進みました。その画期となったのが航海法や穀物法の廃止です。

(Ⅳ)

【解答例】

問1 ④ 問2 種の起源 問3 ラジウム 問4 ③ 問5 ② 問6 天動説

問7 万有引力 問8 ④ 問9 ①

問10 A ダーウィン B キュリー（夫妻） C コペルニクス D ニュートン

E パストゥール 問11 ③

【講評】

ヨーロッパで科学の重要な発見を行なった人物についての問題です。全体的に良くできており、このテーマに対する関心の高さをうかがわせました。特にダーウィンの旅行先に関する問1、コペルニクスの出身地に関する問5、時代順に関する問11の正答率は7割以上でしたが、コッホの業績を問う問8は少し難しかったようです。少数ですが「万有引力」の漢字に間違いが見られたのは残念でした。

一

【解答】

問一 (1) 横行 (2) 悠然 (3) 偏重 (4) 享受 (5) 翻

問二 (6) あいびょうか (7) けんぎ (8) しんちよく (9) ふってい
(10) かたわ

【講評】

出題された漢字は、日常的に使用されるものです。問一、問二とも、6割程度できていました。送り仮名のある漢字を問う問題では、漢字のみ、あるいは、読み方のみ答えるべきところを、送り仮名まで書いてしまったために不正解となるケースが多く見られました。大問一は、漢字の読み書きを問うとともに語彙力を問う問題でもあります。日頃から読書などを通して語彙の知識を増やしておくといいでしょう。なお、解答は、点画をはっきりと大きく、丁寧に書くよう心掛けてください。

二

【解答】

問一 ① 問二 ② 問三 ① 問四 ①

問五 (1) ⑤ (2) あなた、病気にならないかな。 問六 ③ 問七 ④

【講評】

由美が死にゆこうとする魅力的な老人の側で、生と死、そして自らの若さと直面し苦悩している、その姿を見守ることしかできずにいる「ぼく」。この構図を理解して、二人が互いを思いやるさま、を読み取りたい文章です。この大問二は全体に低い正答率でした。

問一、「ぼく」に素直に耳を傾ける由美、です。問二は、由美に言葉が届くのか、心配しています。問三、老醜を見るだけでは足りません。問四は、由美が素直に自分の言葉を聞き入れてくれることを何より「ぼく」は大事にしています。問五(1)は、由美の背後に見える老人への反発が「ぼく」にはあります。(2)は、由美の気持ちが、「ぼく」の世話をするという形に表現されている、と考えます。問六の「ぼく」は、今の由美をただ純粋に心配している、その気持ちを理解しましょう。

三

【解答】

問一 A ④ B ③ C ②

問二 a ② b ④ c ⑩ d ⑤ e ③ 問三 ③

問四 (1) ① (2) ④ (3) ③ (4) ② 問五 おとなおとなしく親めきたるさま

問六 ① 問七 ③ ⑤ 問八 ⑤

【講評】

問一は基本的な古文単語の問題です。特にAの正答率が低かったです。「あなた」の意味を復習しておいてください。問二・問三は文法の基本問題です。問二は比較的よくできていました。問三は直後の語や係助詞を見落とさないようにしましょう。問四は主語を問うもので、敬語の使用から正確に読解できているかを確認しています。敬意の方向ではなく、各動作の主体を答えましょう。問五では紫の上が落ちついた大人らしい態度でいることを押さえた上で、本文中から同じく紫の上の様子を記されている箇所を探します。「おとなおとなし」で一語です。問六は本文の二段落目の内容に着目します。①「女三の宮は…光源氏に手紙を書くようになった」が誤り。本文で言及されているのは女三の宮と紫の上との文通についてです。問七は本文全体の内容理解を問うものです。比較的よくできていました。問九は基本的な文学史の問題です。

四

【解答】

問一 a ③ b ② c ① 問二 ⑤

問三 個人が自分自身の肉体と精神の主権者だから

問四 (1) ① (2) 思い切りのよい寛容論 問五 i ② ii ④ 問六 ④ ⑥

【講評】

問一は語義を問う問題です。正答率が低かったのはb「ふるっている」で、意味は「奇抜でおもしろい」が正解。問二は文脈に合った接続語を選ぶ問題で、ここでは前の事柄を受けつつ、それに対立する条件を付け加える「もっとも」が正解。問三と問四(2)の抜き出し問題はよくできていましたが、減点されないよう、本文どおりに正確に抜き出すこと、漢字を正しく書くことを心がけましょう。問五は、本文の論旨を聖子と心子の会話に当てはめる応用問題です。空欄iのヒントは直後の「泥酔」。会話中の「ネットゲーム」「eスポーツ」と、本文中の「泥酔」「酩酊」(p.15)が対応しているとわかります。空欄iiのヒントは直前の「そもそも」。もともとの前提に立ち返る意味です。会話の話題は「小学生のネットゲーム依存症」ですが、本文には「愚行権」は「分別もあり自律能力もある大人」(p.16)のものとあります。問六は本文の論旨の把握で、正解④の正答率は高く、正解⑥は低いという結果でした。

B 方式は前年度同様、大問 3 問が出題されました。2 題は論説文で、1 題は語法・文法を問う問題が出題されています。マークシートで答える問題が多くありますが、A 方式同様、日頃から一定の分量の英語を読み、正確に要点を掴む力を養うとともに、基本的な語彙文法力を身につけておきましょう。

I.

【解答】

問 1 (A) ③ (B) ② (C) ④ (D) ④ (E) ④

問 2 (a) ③ (b) ② (c) ② (d) ②

問 3 猫はその箱をじっと見つめていたことが観察された。そのことは、猫が何か(その箱の)中にあると思っていることを示唆している。

問 4 (1) more (2) empty (replaced, removed) (3) food(s) (4) shy (5) face(s)
(6) owner(s) (7) feelings (emotions)

【講評】

コロナ禍において家で飼える猫の人気の高まっている中、猫は記憶を保持し、推論することが分かったという一連の実験結果が驚きを持って報告されているという趣旨の論説文です。問 1 は文法、問 2 は語彙、(d)reasoning に近い意味を選ぶ問題はあまりできていませんでした。実験では猫は deductive reasoning(演繹的推論)を使っているとあり、reasoning は論理的思考、推論ですので、inference が最も近い意味です。問 3 は和訳問題、問 4 は本文の要旨を表す文の空所補充です。和訳は分詞構文 suggesting の主語はその前の文で、「猫が箱を見つめていたということ」です。

II.

【解答】

問 1 (1) ③ (2) ④ (3) ④ (4) ② (5) ①

問 2 (ア) ⑤, ② (イ) ③, ② (ウ) ③, ④ (エ) ③, ⑤

問 3 (A) ④ (B) ④ (C) ② (D) ① (E) ②

問 4 28) ② 29) ① 30) ② 31) ② 32) ①

問 5 しかしながら、そのこと(オレンジの多くはセビリアの生ごみとなってしまうこと)は、クリーンなエネルギーを産出するのにオレンジを使うという賢い考えのおかげでもなく変わるかもしれない。

【講評】

ヨーロッパでトップのオレンジ生産を誇るスペイン、アンダルシア地方のセビリアでは、現在のところ、生産したオレンジの多くが生ごみとなっているが、今後は余剰のオレンジで

クリーンエネルギーを生産する計画で、この計画によって持続可能なエネルギーの自給と循環型経済の実現に貢献することができるという展望を述べたものです。問1は文法と論理を問う問題、問2は並べ替え、問3は語句の意味、問4は論旨の意味、問5は和訳問題です。問1の(5)は、「国全体」なので、acrossが入ります。問いの文後半で the country's goal とあるので、Spain 全体を指していることが分かります。

III.

【解答】

- A. (1) ② (2) ② (3) ① (4) ② (5) ④ (6) ④ (7) ① (8) ②
(9) ④ (10) ④ (11) ③ (12) ① (13) ① (14) ④ (15) ④
- B. (1) ① (2) ② (3) ④ (4) ① (5) ④ (6) ②
- C. ①, ②, ⑤, ⑧ (順不同)

【講評】

文法・語法・慣用句に関する問題です。英語の慣用句、コロケーションを例文とともに覚えましょう。慣用句として、A (4) part and parcel of~ (不可欠な、~のかなめ) (5) mind one's step (足元に気をつける) (8) silent majority (物言わぬ多数派)、(9) be burdened with (~を負う、背負い込む)、また (14) neat and tidy (きちんと整っている) のように同じような意味の単語を重ねる習慣は、英語らしい表現として何度も発音して身につけましょう。Cは文法規則の逸脱で、比較的よくできていました。①は if 節の中では未来の意味でも現在形を使うので will は不要です。⑤は too~to... 構文で to は不定詞なので to のあとは動詞の原形です。

(I)

【解答例】

問1 ア 魏志 イ 壬申 ウ 駅(駅家) エ 蜻蛉日記 オ 渤海

問2 a② b③ c③ d② e④ f② g③ h④ i④ j① k② l② m①
n① o④

【講評】

弥生時代から平安時代までの交通に関する文章を読んで解答する問題です。問1はどの設問もよくできていましたが、オは「渤」の字を正確に書けるようにしましょう。問2ではhの正答率が低かったですが、「地方の反乱を鎮め」たかどうかというより、それぞれがいつごろの人物なのかを考えれば、それほど難しくはないと思います。

なお、k(11)は、正しいものを選ぶとしなければならないところ、誤っているものはどれかという問いかけにしていまいましたので、全員を正答としました、受験生のみなさんには深くお詫びいたします。

(II)

【解答例】

問1 (a)② (b)① (c)④ (d)③ (e)④ (f)④ (g)③ (h)②
(i)① (j)③ 問2 (ア)1159 (イ)1333

問3 源実朝が死去した後の鎌倉幕府において実権を掌握した北条氏が公正な裁判を通じて御家人たちの支持を得ようとした。具体的には源頼朝以来の先例や道理などを集成して御家人たちに規範を示した御成敗式目を制定したり、訴訟処理の迅速化を目指して引付衆を設置するなどした。

【講評】

問1についてはA方式と同様に(g)(j)といった文化史の正答率が低かったです。問2については正答できた受験生と空欄だった受験生に二極化していました。問3については引付衆が訴訟機関であることがポイントとなります。

(III)

【解答例】

問1 ア 禁中並公家諸 イ 武家伝奏 ウ 後水尾

問2 (a) ③ (b) ② (c) ④ (d) ③ (e) ④ (f) ③ (g) ②

問3 ① 問4 ④ 問5 ③

【講評】

(Ⅲ)は江戸時代の朝廷と幕府の関係に関連した問題です。問1のアでは「禁中」や「公家」の表記を欠いた不完全な解答、イでは「奏伝」と誤記した解答が散見されました。どちらも教科書で強調されている重要用語ですので、正確な記憶をはかる必要があります。問2～問5はおおむねよくできていましたが、宝暦・明和事件と尊号事件を題材とした問2の(d)と(e)は正答率がやや下がりました。とくに(e)は、太上天皇の称号を贈ろうとしたのは「幕府」ではなく「光格天皇」であること、処罰されたのは「光格天皇」ではなく武家伝奏を含む「公家たち」であること、などをきちんと理解していないと正解を選ぶことは難しかったと思います。有名な出来事や事件は、用語を覚えるだけでなく、その内容を詳細かつ正確に理解しておくように普段から心がけてください。

(Ⅳ)

【解答例】

問1 ア 1890 イ シーメンス(ジーメンス) ウ ロンドン エ ミッドウエー

問2 (a) ① (b) ③ (c) ② (d) ④ (e) ① (f) ② (g) ③ (h) ④ (i) ①

【講評】

近現代日本の海軍を主題に政治・外交を中心に扱った問題です。問1では、アの帝国議会の開設年の間違いが目立ちました。1889年に大日本帝国憲法が発布され、翌年の1890年に第1回衆議院議員総選挙が行われ、第1回帝国議会が召集されました。重要な出来事が起きた年は覚えておく必要がありますが、あとは出来事同士を関連させて流れで理解しましょう。問2について、特に(h)が難しかったようです。近衛文麿は戦時期に3回にわたって首相になり、日本の針路に大きな影響を与えました。第一次内閣で盧溝橋事件(1937年)に遭遇、日中戦争に突入しました。日独伊三国同盟の締結(1940年)は、2度目に首相になった第二次内閣でのことでした。

2022年度 一般選抜3教科B方式 「世界史」

(I)

【解答例】

問1 ④ 問2 ② 問3 スコットランドまたはウェールズ

問4-1 (あ) 三 (い) アイユーブ (う) 欠地王(失地王) (え) マグナカルタ(大憲章)

問4-2 ① 問5-1 ③ 問5-2 ④ 問5-3 (あ) 南 (い) 異端

問6 ① 問7 ②

【講評】

ヨーロッパ中世に関する問題です。基本的な知識を問う記述式の問題が比較的良くできていたのに対し、記号問題のいくつかでは苦戦が見られました。正誤を選ぶ問2、5-2、6はやや難ですが、消去法から正解に達することができます。問5-1、6、7は時代感覚が問われます。百年戦争の経過を問う7は簡単でしたが、社会全体の流れを問う5-1、6は難しかったようです。

(II)

【解答例】

問1 ② 問2 ③ 問3 ⑥ 問4 ④ 問5 ② 問6 ① 問7 ①

問8 宗教指導者の名：ホメイニ 王朝の名：パフレヴィー朝 問9 ④

【講評】

(II)はシーア派に関する問題でした。記述式の問題については、現代史ということもあって正答率はそれほど高くありませんでした。マーク式の問題については、全体としては高い正答率でした。問2と問3については正答率が低くなると予想しましたが、60%前後の正答率となりました。その一方で、正答率が高くなると予想した問9は50%台の正答率にとどまりました。現代史は複雑かつ覚えることが多くて大変ですが、それ以前の関係する歴史と結びつけて覚えるようにしましょう。

(III)

【解答例】

問1 ② 問2 ② 問3 ② 問4 戸籍・租税台帳－賦役黄冊 土地台帳－魚鱗図冊

問5 ⑤ 問6 ①③ [順不同] 問7 ①

問 8 人頭税逃れを目的とした人口隠しによる不平等を避けるため、人頭税を廃止して土地税に組み込み、銀で納入させた制度。

問 9 ① 問 10 ② 問 11 ⑤ 問 12 ④

【講評】

(Ⅲ)は明代・清代の社会・経済と科学技術に関する問題です。問 1、問 2、問 6、問 7、問 11 のような、事項、人物、地名等の選択問題は全体的に正答率が高かったです。それに比べると、問 3、問 9 のような正誤問題は正答率が低めでした。用語だけを覚えるのではなく、歴史の流れを整理するようにしましょう。問 8 は人頭税を廃止して、土地税に組み入れたことが説明できていれば正解ですが、土地税と人頭税を逆にする誤答が散見されました。

(Ⅳ)

【解答例】

問 1 ② 問 2 ④ 問 3 ① 問 4 鉄血(政策) 問 5 ③

問 6 ② 問 7 インド 問 8 ② 問 9 ④

問 10 A ニコライ 2 世 B カール大帝(シャルルマーニュ)

C ヴィルヘルム 1 世 D ヴィクトリア(女王) E ルイ 14 世

問 11 ②

【講評】

ヨーロッパ諸国の君主に関する問題ですが、全体にマークシートの正答率は高めで、基礎的な部分の知識はしっかりしていると感じました。特に問 1 と問 3 の正答率は 7 割以上、問 11 は問題文にヒントとなる年号を入れたためか、9 割近い正答率でした。その一方で記述式解答については、よくできた人とそうでない人に分かれており、こちらで差がついたという印象です。

【解答例】

問 1

- (1) (a) ○ (b) ○ (c) × (d) ○
(2) インターネットの情報やアルゴリズムにばかり頼って物事を決めていると、自分で判断する能力が衰えてしまうということ。

問 2

- (1) 新型コロナウイルスの世界的流行によって、夫婦や親子など家族と一緒に過ごす時間が以前より増えた一方で、ソーシャル・ディスタンスをとる必要が生じたため、友達やより広いコミュニティーの人々との対面でのつながりがなくなり、孤独を感じる人が増えた。
(2) これらのテクノロジーを用いることができる人とできない人の間のデジタル・ディバイド（格差）も存在する。
(3) (ウ)

問 3

- (a) × (b) ○ (c) × (d) × (e) × (f) × (g) ○

問 4

人々はネットワーク化され、柔軟性の高い組織に加わることが多くなり、従来行われていた「手の届く範囲にいる他者」との相互行為が、地理的な距離を超えて、世界中の「互いに面と向かって会うことのない」者同士で行われるようになったこと。

問 5 (下の講評を参照)

【講評】

今回の総合小論文方式のテーマは、現代社会における「人間関係」の変化でした。ICTの急速な進展や新型コロナウイルスの流行によって、人々の関係にどのような問題が生じているか、またその問題を解決するには何が必要と考えられるかについて、論じてもらいました。

問 1 は、インターネットの検索システムのアルゴリズムが人々の意思決定のあり方にどのような影響を与えているかを文章から読み解く問題でした。(1) は正答率が高かったですが、(2) は内容を理解できず、日本語としても不完全な解答が散見されました。

問 2 は、英語のニュース記事から、コロナ禍における人間関係の変化を示す具体例をみつけて日本語で要約する問題と、平易な英文の日本語訳ならびに内容把握にもとづく穴埋め問題でした。語彙や文法は基礎的な英文でしたが、正答率はいずれも低かったです。

問 3 は、アンケート調査のデータを表から読み解く問題でした。多くの方がよくできていました。

問 4 は、比較的短い記述問題でしたが、資料の内容を正確に理解できなかったとみられる

解答が多く、要点をつかんでまとめることができた解答との間には点数に大きな差が出ました。

問5は、すべての資料の内容をふまえて、現代社会において生じている「人間関係」の問題点を指摘し、その解決策について考察することを求めましたが、自身の個人的経験から問題点を論述する解答が目立ちました。また、解決策の考察が不十分な解答や、字数に満たない解答もあり、資料を引用しながら具体的な解決策を示した解答との間に大きな評価の差がありました。